

私たち、335人の請願人は、対話によるまちづくりを推進する市の姿勢に反しないよう、「学校施設整備基本構想・基本計画」素案の公表、並びに素案段階での学区ごとの市民説明会、及び十分な期間を設けたパブリックコメントの実施を求める請願を、11月22日に牧之原市教育委員会に提出し、受理されました。

一方、教育委員会は、12月5日から令和6年1月4日までの期間で「基本構想・基本計画」(案)のパブリックコメントの募集を始めました。

私たちは、「基本構想・基本計画」素案について市民説明会の実施を求めます。

先ず、請願書を受理した後、どのような議論がなされ、12月5日から令和6年1月4日までの期間で「基本構想・基本計画」(案)のパブリックコメント募集を始めているのですか。請願の趣旨とは異なった経過理由について説明してください。

本構想・計画は牧之原市民にとって未来永劫を決定づける程の重要案件です。重要案件については、説明会・意見交換会を実施することが求められると、思います。

次に「基本構想・基本計画」(案)のパブリックコメント募集のことを、市民への周知する方法として、ホームページ、公式ライン以外に、どんな方法をとりましたか。

市民に広く通知すると共に、透明性をもって進めることが最重要です。忙しい子育て世代、携帯電話が苦手な方にも、書けるような努力や配慮をされましたか。

しかも、1年のうちの年末年始という誰もが1番忙しい時期の30日間のパブコメ募集は、避けるべきだったのではないのでしょうか。

また、パブコメを書こうにも、やはり、何をどう書けばいいのか、わかりにくいのが、多くの市民の実態です。市民説明会なしで、パブコメ募集は、あまりにも、無理のあるスケジュールです。パブコメとはそもそも「事前に案を広く市民に説明」することです。条例にあります。説明とは、市民によくわかるように述べることではないですか。

最後に、パブコメをとった後の意見内容の精査、市民の声に立ち止まって修正する勇気がありますか。

対話を大切にし、市民と協働のまちづくりを推奨する牧之原市を願って止みません。